


活用実践事例

授業の概要					
学校名	小学校				
授業日時	2015年1月30日	学年	1	教科	国語
単元名	かたちのにているかん字				
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・字形が似ている漢字を比較し、その相違点を見つけ出して整理する活動を通して、漢字を正しく識別することができる。 ・形の似ている漢字の違いに注意しながら、文を読み書きすることができる。 				
単元の流れ	<ol style="list-style-type: none"> ① 間違いやすい漢字について話し合うことで、それが形の似ている漢字であることに気付かせる。 ② 形の似ている漢字にはどのようなものがあるかを教科書から知る。 ③ 形の似ている漢字の違うところに印をつけ、それぞれの漢字に読み仮名を書く。 ④ 形の似ている漢字の違うところについて、気づいたことを発表し合う。 ⑤ 既習の漢字の中から、形の似ている漢字を探して、それぞれの漢字の違うところに印を書きこむ。(本時) ⑥ グループになり、自分の見つけたものを発表し合い、グループで意見を交流する。(本時) ⑦ グループで交流した意見を発表し合う。 ⑧ 『かたちのにているかん字ノート』を作り、その中でその漢字を使った文を作ることを通して、漢字を正しく書けるようにする。 ⑨ クラスの中で、作ったノートを見せ合い、形の似ている漢字を交流する。 				
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の漢字の中から形の似ている漢字を組で探すことができる。さらに、似ている漢字の違うところを見つけることができる。 				
本時の授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 少人数学習 <input type="checkbox"/> 習熟度別学習 <input checked="" type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習				

活用実践事例

ICT活用場面	
授業場所	普通教室
ICT機器活用場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input checked="" type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者 <input checked="" type="checkbox"/> ICT支援員 <input type="checkbox"/> 授業づくり指導員
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 学習者用タブレット <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用コンテンツ	<input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> SKYMENU <input type="checkbox"/> Schoology <input type="checkbox"/> その他
	その他 MetaMoji Note
タブレット活用形態	<input type="checkbox"/> 一人一台 <input checked="" type="checkbox"/> 学習班に一台
活用の効果	・タブレットを活用することで、今まで習った漢字の相違点を見つけたり、書きこんだりする作業が容易にできる。 ・グループの考えを瞬時に電子黒板で提示し、発表することができる。

活用実践事例

授業の展開		
学習の流れ	ICT活用場面	ポイント
<p>【導入】 前時の学習を想起する。 前時に学習したことを電子黒板で提示し、学習内容の確認をする。</p> <p>既習の漢字の中から、形の似ている漢字を探 す。 似ている漢字の違うところに、印をつける。 グループになり、見つけたものを発表し合い、意 見を交流する。</p> <p>【展開】 グループで見つけたものを発表し、それについて 話し合う。 他のグループの中でも、同じ意見であったり、他 の漢字との違いを見つけたりしていないか発表し 合う。</p> <p>【まとめ】 今日の学習を振り返り、発表された漢字を使っ た文を書いてみる。</p>		<p>前時に、子どもが書きこんだ後のデジタル教科書を写真で保存しておき、電子黒板で提示し、本時の学習を見通せるようにする。</p> <p>MetaMoji Noteを活用することで、容易に画面上で漢字を動かしたり、書きこんだりすることができることから、グループの意見を交流しやすくする。 タブレットを使うことで、子どもの興味関心を高めることができる。</p> <p>グループの意見を瞬時に電子黒板で提示し、発表することができる。</p>